

注3

大学番号：私442

[平成20年度設置]

計画の区分：学部設置

注1

届出

四天王寺大学 教育学部

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 四天王寺学園
平成23年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務課

職名・氏名 課長代理 榑 井 亮 廣

電話番号 072-956-9913

（夜間） 072-956-3181

F A X 072-956-9940

e-mail k-masui@shitennoji.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には認可時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成23年3月11日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書」の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 四天王寺学園

(2) 大学名

四天王寺大学

(3) 大学の位置

〒583-8501

大阪府羽曳野市学園前三丁目2番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(モリタ シュンロウ) 森田 俊朗 (平成17年4月)		
学長	(オクダ セイメイ) 奥田 清明 (平成16年4月)	(ウスイ ミネオ) 碓井 岑夫	任期満了による変更(20) 任期満了による再任(22) (平成20年4月)(平成22年4月)
学部長	(ウスイ ミネオ) 碓井 岑夫 (平成20年4月)	(ハヤシダ ヨシロウ) 林田 嘉朗 (平成22年4月)	任期満了による変更(22)
学科長等	(カワグチ タカオ) 川口 隆雄 (平成20年4月)	(ハヤシダ ヨシロウ) (キタカ ヒロキ) 林田 嘉朗 北岡 宏章 (平成21年4月) (平成22年4月)	任期満了による変更(21) 任期満了による変更(22)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成20年度に報告済の内容 → (20)

平成23年度に報告する内容 → (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育学部 教育学科 学士(教育学)	4年	180人	3年次 15人	750人	

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	180人 (-) [-]	0人 (-) [-]	180人 (-) [-]	0人 (-) [-]	180人 (15) [-]	0人 (-) [-]	180人 (15) [-]	0人 (-) [-]	1.26倍			
志願者数	1,369 (-) [0]	0 (-) [-]	1,444 (-) [1]	0 (-) [-]	1,383 (14) [0]	0 (-) [-]	2,162 (12) [0]	0 (-) [-]				
受験者数	1,224 (-) [0]	0 (-) [-]	1,292 (-) [1]	0 (-) [-]	1,241 (14) [0]	0 (-) [-]	1,993 (12) [0]	0 (-) [-]				
合格者数	394 (-) [0]	0 (-) [-]	384 (-) [0]	0 (-) [-]	367 (6) [0]	0 (-) [-]	359 (7) [0]	0 (-) [-]				
B 入学者数	220 (-) [0]	0 (-) [-]	234 (-) [0]	0 (-) [-]	240 (6) [0]	0 (-) [-]	220 (7) [0]	0 (-) [-]				
入学定員超過率 B/A	1.22		1.30		1.33		1.22					

- (注) ・ () 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] 220	[-] 0	[-] 234	[-] 0	[-] 240	[-] 0	[-] 221	[-] 0	平成21年度2年次生について、学則第40条（転学部転科）により平成20年5月1日付で1年次学生数は220名であったが、上記制度により教育学部へ8名転入し、他学部へ1名転出した。また、除籍により1名が減少したため最終的には平成21年度2年次生は226名となった。(21)
2年次	/		[-] 226	[-] 0	[-] 235	[-] 0	[-] 234	[-] 0	
3年次			/		/		[-] 229	[-] 0	[-] 235
4年次	/						/		[-] 229
計			[-] 220	[-] 0	[-] 460	[-] 0			[-] 704

(注) ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
- ・ 「平成23年度」には、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成20～22年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成20年度 (平成20年4月1日～ 平成21年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [0]	0%
	うち平成20年度入学者 0人	うち平成20年度 220人	
	(主な退学理由)		
平成21年度 (平成21年4月1日～ 平成22年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [0]	1.5%
	うち平成20年度入学者 4人	うち平成20年度 220人	
	うち平成21年度入学者 3人	うち平成21年度 234人	
	(主な退学理由)		
	家庭の事情 1 その他 1 健康上の理由 1 他大学への入学 1 転出 1 除籍 2		
平成22年度 (平成22年4月1日～ 平成23年3月31日)	計 [0]	(累積)計 [0]	2.0%
	うち平成20年度入学者 1人	うち平成20年度 216人	
	うち平成21年度入学者 6人	うち平成21年度 231人	
	うち平成22年度入学者 7人	うち平成22年度 240人	
	(主な退学理由)		
健康上の理由 5 その他 2 就職 1 専門学校への入学 1 他大学への入学 1 勉学意欲の喪失 4			

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月末まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度における退学者数】を、【当該対象年度の入学者数+当該対象年度前年度までの確定した入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<教育学部 教育学科>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数					専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
基礎教育科目	仏教Ⅰ（瞑想）	1前	1										
	仏教Ⅱ（瞑想）	1後	1										
	仏教Ⅲ（写経）	2前	1										
	仏教Ⅳ（写経）	2後	1										
	聖徳太子概説	1前/後 1・2	2										学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更（21）
	人権・同和問題論	1・2前/後 1・2・3	2										学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更（21）
共通教育科目	情報処理演習Ⅰ	1前/後		2			↓						クラス数減に伴い、担当者を調整（23） 担当者を兼任の担当者に変更したため（23） ※1 教育効果の充実を図るため担当者の変更（21）
	情報処理演習Ⅱ	1前/後		2			↓						
	数学演習Ⅰ	1前/後		2									※2
	数学演習Ⅱ	1前/後		2									
	数学演習Ⅲ	1前/後		2									
	生命の科学	1・2前/後		2			1						
	環境の科学	1・2前/後		2									
	化学の世界	1・2前/後		2									
	物理の世界	1・2前/後		2									
	地球と宇宙	1・2前/後		2									
	先端技術	1・2前		2									集中
	英語Ⅰ	1前	1										
	英語Ⅱ	1後	1										
	英語Ⅲ	2前	1				1	1	↓			教育効果の充実を図るため担当者の変更（23） 学生の学習効果を高める理由により、担当教員を外国人兼任講師に変更した（22） 学生の学習効果を高める理由により、担当教員を専任で配当した（21）	
	英語Ⅳ	2後	1				1	1	↓				
	ドイツ語Ⅰ	1前		1									
	ドイツ語Ⅱ	1後		1									
	ドイツ語Ⅲ	2前		1									
	ドイツ語Ⅳ	2後		1									
	フランス語Ⅰ	1前		1			1						学生の学習効果を高める理由により、担当教員を専任としたため（21）
フランス語Ⅱ	1後		1			1							
フランス語Ⅲ	2前		1			1						教育効果の充実を図るため担当者の変更（23）	
フランス語Ⅳ	2後		1			1						学生の学習効果を高める理由により、担当教員を専任としたため（21）	
中国語Ⅰ	1前		1									※3	
中国語Ⅱ	1後		1										
中国語Ⅲ	2前		1										
中国語Ⅳ	2後		1										

共通教育科目	日本語 I	1前 未開講	1					通常開講(23) 履修希望者がいなかったため(21)(22)
	日本語 II	1前 1後 未開講	1					通常開講(23) 履修希望者がいなかったため(21)(22)
	日本語 III	1後	1					
	日本語 IV	2前	1					
		2後	1					
	大学基礎演習	1前	2		8 7 8	4 3	1 2	クラス担任数減に伴い、専任教員数を調整(23) 職位変更(22) 初年次教育科目が全学共通の一般科目となり新たに開設したため(21)
	日本国憲法	1前/後	2					
	法学 I (国際法を含む)	1前	2					
	法学 II	1・2後	2					
		1・2・3後						学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(22)
		1・2・3前/後						学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21)
	政治学	4	2					
		1・2前/後						学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21)
	経済学 I	1・2・3	2					
	経済学 II	1・2後	2					
		1・2・3前						学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21)
	社会学 I	4	2					
		1・2・3後						学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21)
	社会学 II	4	2					
		1・2・3前						学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21)
	心理学 I	4	2					
		1・2・3後						学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21)
	心理学 II	4	2					
		1・2・3前/後						学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更(22)
		1・2・3前						学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21)
	哲学 I	1・2	2					
		1・2・3後						学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21)
	哲学 II	1・2	2					
	社会福祉概論	1・2・3前/後	2					
	社会福祉行政	1・2・3前/後	2					
	児童福祉論	2・3・4前/後	2					
	老人福祉論	1・2・3前/後	2					
障害者福祉	1・2・3前	2						
レクリエーション論	1・2・3前/後	2						
	廃止						介護等体験を単位化して科目を設置していたが、単位化しないことになった為(22)	
介護等体験研究	2・3・4前	2						
スポーツ I	1・2・3前	1			1		学生指導の充実を図るため、専任教員を増員(21)	
スポーツ II	1・2・3後	1			1			
体育講義	1・2後	2						
	1・2・3・4前/後		(注1) 2				学生の過剰な履修登録を防ぎ、学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21)	
共通教育研究	1・2・3							
キャリア研究	1・2・3前/後		(注1) 2					
学外実地研修	1・2・3前/後		(注2) 2					
海外語学研修	1・2・3・4前/後		(注3) 1~8 (注2)					
知識・技能研究 I	1・2・3・4前/後		2					
知識・技能研究 II	1・2・3・4前/後		2					

専 門 教 育 科 目	教育人間学	1前/後 2・3・4後	2			1	4		学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21) 担当者の職位変更(21)
	特別支援教育	2		2					
	教育原論	1前/後 1前	2			2	4		学生の履修状況にあわせ、配当学期を変更(22) 2名の内、1名が職位変更(21) 学生指導の充実を図るため、専任教員を増員(23)
	教職論	1前/後		2			4		
	教育制度論	1前/後 2・3・4前/後		2		1			学生指導の充実を図るため、専任教員を増員(23)
	道徳教育の研究	2 2・3・4前/後 2・3・4前		2		1	1		学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21) 学生の履修状況にあわせ、配当学期を変更(22)
	特別活動の研究	2 2・3・4前		2		1	4		学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21) 担当者の職位変更(21)
	生徒指導論(進路指導含む)	2 2・3・4後		2		1			学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21)
	教育の方法・技術								
	教育の方法・技術Ⅰ	2前/後		2		4			碓井岑夫教授の学長就任に伴い、担当者の変更(21)
	教育の方法・技術Ⅱ	2 (教育課程の意義及び編成の方法を含む)		2		4			教職課程認定に伴い文部科学省教職員課免許係より指導があり科目名称を変更及び統合した(21)
	教育課程総論	2 2・3・4前/後		2		2	1		学生の学習効果を高める理由により、専任教授を追加(22)
	教職実践演習(教諭)	4後		2		4	4		学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21) 平成20年4月 碓井岑夫教授の学長就任に伴い、担当者変更及び職位の変更(21)
	教職実践演習(養護教諭)	4後		2			1		教職課程認定に伴い、文部科学省教職員課免許法の改正により、科目を追加(22)
	教職実践演習(中・高)	4後		2			1		教職課程認定に伴い、文部科学省教職員課免許法の改正により、科目を追加(22)
	総合演習	廃止 2前/後		2		4	4		文部科学省より教育職員免許法の変更により科目を削除(22) 担当者の職位変更(21)
	教育特別研究	2・3・4前/後		1		1			音楽実践力向上のため科目追加(23)
	教育心理学	1前/後 2・3・4前 2・3・4前/後 2・3・4前	2				1		学生の履修状況にあわせ、配当学期を変更(23) 学生の履修状況にあわせ、配当学期を変更(22)
	発達心理学	2 2・3・4前/後		2			1		学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21)
	教育相談の理論と方法								
スタールカウンセリング	2		2			4		教員の所属変更に伴い兼任教員に担当変更した(21) 教職課程認定に伴い、文部科学省教職員課免許係より指導があり、科目名称を変更した(21)	
メディア教育演習	4後 4前		2					学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更(21) 学生の履修状況にあわせ、配当学期を変更(23)	
日本語表現	1後		2		4			本学教務副部長に就任の為、担当者を兼任教員に変更(22) 担当者の職位変更(21)	
日本語表現			2		6	3			

専 門 教 育 科 目	授業研究（教職実践演習）	廃止 4後		2		3	6	1		教職課程認定に伴い、文部科学省教職員課免許係より指導があり、科目を廃止した（22）
	外書講読	3	2							教員養成課程の学修を充実させるとともに、学生の負担を軽減するため科目を廃止（21）
	学校インターンシップ実践研究	2前/後		1 2			3 2	1		単位数誤記載のため訂正（23）
	卒業研究	4後		4		15 14	8 2	1		学生の学習効果を高める理由により、専任教員を追加（23）
	比較教育学	3後 3前		2		9 9		2		学生の学習効果を高める理由により、専任教員を追加（22） 研究指導
	教育社会学	2前		2			1			学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更、担当教員コース主任就任のため担当者を兼任教員へ変更（22） 隔年開講
	教育行財政学	2・3・4前 2・3・4後 2		2				1		学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更（22） 学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更（21）
	教育史	3・4後 3		2		1	1			隔年開講 学生の学習効果を高める理由により、専任教授に変更（22） 学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更（21）
	数理特論Ⅰ	2前 2前/後 2後		2		1	1			担当者の職位変更（21） 教育効果の充実を図るため担当者の変更（23） 学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更（23） コース必修科目
	数理特論Ⅱ	2前/後		2		1				学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更（23） コース必修科目 学生の学習効果を高める理由により専任教員を増員した（21）
	国語（書写を含む）	2前/後		2		1	1			コース必修科目 平成21年3月坂口豊教授の退職に伴い、兼任講師となったため担当者の変更（21） 担当者の職位変更（21）
	算数	2前/後 2前		2		2 1	1			学生の学習効果を高める理由により、専任教員を追加（23） コース必修科目 学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更（23）
	理科	2前/後		2		2				コース必修科目 平成21年3月蓮間忠芳教授が短期大学部へ所属異動となり、兼任教授となったため担当者の変更（21）
	社会	2前/後		2			2 1	1 2		専任教員の職位変更（23） 中本和彦（講師から准教授） コース必修科目 谷本専任講師退職に伴い教員の変更（22）担当 山口仁久准教授

専 門 教 育 科 目	生活	1前 1後	2						学生の学習効果を高める理由により、専任教員を追加 (23)
	音楽理論	1前 1後	2	1	1				学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更 (23) 学生の学習効果を高める理由により、同一専任教員に変更 (22) 担当者の職位変更 (21)
	音楽	1前 1後	2	2 1	1				学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更 (23) 学生の学習効果を高める理由により、専任教員を追加 (23) 学生の学習効果を高める理由により、専任教授を追加 (22) 担当者の職位変更 (21)
	音楽実践研究Ⅰ	2前	1						音楽実践力向上のため科目追加 (23)
	音楽実践研究Ⅱ	2後	1						音楽実践力向上のため科目追加 (23)
	音楽実践研究Ⅲ	3前	1						音楽実践力向上のため科目追加 (23)
	家庭	1前/後 1前/後	2						
	美術理論	1前	2						学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更 (23)
	図画工作	1前/後	2		1	1			黒田教授退職に伴い教員の追加 (22) 担当 林正夫准教授
	体育理論	2後	2				1		学生指導の充実を図るため、専任教員を増員 (21)
	専門体育	2前	2				1		学生指導の充実を図るため、専任教員を増員 (21)
	保健	2後	2		1	1			担当者の職位変更 (21)
	国語科教育法Ⅰ								
	教材研究国語Ⅰ	3前	1		1	1			
	国語科教育法Ⅱ								
	教材研究国語Ⅱ	3後	1		1	1			
	社会科教育法Ⅰ						2		専任教員の職位変更 (23) 中本和彦(講師から准教授)
	教材研究社会Ⅰ	3前	1		1	1		1	
	社会科教育法Ⅱ						2		専任教員の職位変更 (23) 中本和彦(講師から准教授)
	教材研究社会Ⅱ	3後	1		1	1		1	
	算数科教育法Ⅰ								
	教材研究算数Ⅰ	3前	1		1	1		1	担当者の職位変更 (21)
	算数科教育法Ⅱ								
	教材研究算数Ⅱ	3後	1		1	1		1	担当者の職位変更 (21)
	理科教育法Ⅰ								
	教材研究理科Ⅰ	3前	1		1	1			
	理科教育法Ⅱ								
	教材研究理科Ⅱ	3後	1		1	1			教職課程認定に伴い、文部科学省教職員課免許係より指導があり、科目名称を変更した (21)
	生活科教育法Ⅰ								
	教材研究生活Ⅰ	2前	1		1	1			
生活科教育法Ⅱ									
教材研究生活Ⅱ	2後	1		1	1				
音楽科教育法Ⅰ									
教材研究音楽Ⅰ	2前	1		1	1			学生の学習効果を高める理由により、専任教員を追加 (23)	
音楽科教育法Ⅱ									
教材研究音楽Ⅱ	2後	1		1	1			学生の学習効果を高める理由により、専任教員を追加 (23) 黒田教授退職に伴い教員の追加 (22) 担当 林正夫准教授	
図画工作科教育法Ⅰ									
教材研究図工Ⅰ	2前	1		1	1				
図画工作科教育法Ⅱ									
教材研究図工Ⅱ	2後	1		1	1			黒田教授退職に伴い教員の追加 (22) 担当 林正夫准教授	

専 門 教 育 科 目	教育学演習Ⅰ	3前	2	3	2 4	1	コース必修科目8単位 学生の学習効果をも高める理由により教員を追加(22)担当 曾野洋教授、田辺昌吾専任講師 学生の学習効果をも高める理由により教員を追加(22)担当 曾野洋教授、田辺昌吾専任講師 学生の学習効果をも高める理由により、専任教員を追加(23) 学生の学習効果をも高める理由により、専任教授のみに変更(22) 学生の学習効果をも高める理由により、専任教員を追加(23) 担当者の職位変更(21) 平成21年3月 坂口豊教授の退職に伴い、兼任講師となったため担当者の変更(21) 専任教員の職位変更(23) 中本和彦(講師から准教授) 谷本専任講師退職により、教員を追加(22) 担当 山口仁久(准教授) 専任教員の職位変更(23) 中本和彦(講師から准教授) 谷本専任講師退職により、教員を追加(22) 担当 山口仁久(准教授) 専任教員の職位変更(23) 中本和彦(講師から准教授) 谷本専任講師退職により、教員を追加(22) 担当 山口仁久(准教授) 専任教員の職位変更(23) 中本和彦(講師から准教授) 谷本専任講師退職により、教員を追加(22) 担当 山口仁久(准教授) 担当者の職位変更(21) 担当者の職位変更(21) 担当者の職位変更(21) 担当者の職位変更(21) 学生指導の充実を図るため、専任教員を増員(21) 学生指導の充実を図るため、専任教員を増員(21) 学生指導の充実を図るため、専任教員を増員(21) 学生指導の充実を図るため、専任教員を増員(21) 担当者の職位変更の記載誤りのため(23) 担当者の職位変更の記載誤りのため(23) 担当者の職位変更の記載誤りのため(23) 担当者の職位変更の記載誤りのため(23)	
	教育学演習Ⅱ	3後	2	3	4 2	1		
	教育学演習Ⅲ	4前	2	3	4	1		2
	教育学演習Ⅳ	4後	2	3	4	1		2
	教育心理学演習Ⅰ	3前	2		1			
	教育心理学演習Ⅱ	3後	2		1			
	教育心理学演習Ⅲ	4前	2		1			
	教育心理学演習Ⅳ	4後	2		1			
	国語科教育演習Ⅰ	3前	2	1	4			
	国語科教育演習Ⅱ	3後	2	1	4			
	国語科教育演習Ⅲ	4前	2	1	4			
	国語科教育演習Ⅳ	4後	2	1	4			2
	社会科教育演習Ⅰ	3前	2		4	2		4
	社会科教育演習Ⅱ	3後	2		4	2		4
	社会科教育演習Ⅲ	4前	2		4	2		4
	社会科教育演習Ⅳ	4後	2		4	2		4
	算数科教育演習Ⅰ	3前	2	2	4	4		
	算数科教育演習Ⅱ	3後	2	2	4	4		
	算数科教育演習Ⅲ	4前	2	2	4	4		
	算数科教育演習Ⅳ	4後	2	2	4	4		
	理科教育演習Ⅰ	3前	2	1				
	理科教育演習Ⅱ	3後	2	1				
	理科教育演習Ⅲ	4前	2	1				
	理科教育演習Ⅳ	4後	2	1				
	体育科教育演習Ⅰ	3前	2		1			
	体育科教育演習Ⅱ	3後	2		1			
体育科教育演習Ⅲ	4前	2		1				
体育科教育演習Ⅳ	4後	2		1				
音楽科教育演習Ⅰ	3前	2	1	4				
音楽科教育演習Ⅱ	3後	2	1	4				
音楽科教育演習Ⅲ	4前	2	1	4				
音楽科教育演習Ⅳ	4後	2	1	4				

	教育実習指導	3前	1	2	2 3 4	1			教育効果の充実を図るため担当者の変更 (23) 教育効果の充実を図るため担当者の変更 (21) 学生指導の充実を図るため、専任教員を追加 (22) 担当 林正夫准教授、今井進准教授
	教育実習	3前	4	2	4	1			
専 門 教 育 科 目	英語学概説	1前	2	1	1				コース必修科目
	英語史概説	3後	2	1	1				学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更 (22) 職位変更 (22)
	英語音声学	1後	2	1	4				コース必修科目
		2後							学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更 (22)
	児童英語教育論	2前	2	1					コース必修科目
	学習英文法セミナーⅠ	1前	2	1					学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更 (22)
	学習英文法セミナーⅡ	1後	2	1					
	英語学特論			1					学生にとって分かりやすい科目名称としたため、科目名称を変更 (21)
	第二言語習得論	3前	2	4					
	英語学講読								学生にとって分かりやすい科目名称としたため、科目名称を変更 (21)
	言語学講読	3前	2	1					
		2前/後							
	英米文学概論	2前	2						学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更 (22)
	英米文学講読	2前	2						
		4	2						学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更 (21)
	英米児童文学講読Ⅰ	2前	1						コース必修科目
	英米児童文学講読Ⅱ	2後	1						コース必修科目
	英国伝承文学 (詩・諺)	3	2	1					
		3前/後							学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更 (21)
	英語ドラマセミナー	3前/後	2						学生の学習効果を高める理由により、配当年次を変更 (22) 学生にとって分かりやすい科目名称としたため、科目名称を変更 (21)
ドラマ教育	3前	2							
コミュニケーションセミナーⅠ	1前	1	1	4				コース必修科目 職位変更 (22)	
コミュニケーションセミナーⅡ	1後	1		4					
	2前/後							コース必修科目 教育効果の充実を図るため担当者を兼任教員へ変更 (21)	
コミュニケーションセミナーⅢ	2前	1	1	4					
	2前/後							学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更 (22) 学生にとって分かりやすい科目名称としたため、科目名称を変更 (21)	
ライティング	2後	2		4				コース必修科目	
インターネット英語	2後	1						学生の学習効果を高める理由により、配当学期及び担当者を変更 (22)	
英語プレゼンテーション	3前/後								
	3前	2	1	4				コース必修科目	
比較文化論	1前	2	4	4		1		教育効果の充実を図るため担当者の変更 (23) 職位変更 (22) 教育効果の充実を図るため	

専 門 教 育 科 目	異文化理解Ⅲ 環境問題の英書講読 異文化研究Ⅱ	2前 3	2					学生の学習効果を高める理由 により、配当年次を変更(21) 教職課程認定に伴い、文部科学 省教職員課免許係より指導があ	
	現代国際関係研究	4前	2	1	1			り、科目名称を変更した(21) 職位変更(22)	
	異文化理解Ⅰ	2前/後						学生の学習効果を高める理由に より、配当学期を変更(22) コース必修科目	
	多文化共生と諸言語	2前	2					学生の学習効果を高める理由 により、配当年次を変更(21)	
	異文化理解Ⅱ	2前						コース必修科目	
	英国・日本の歳時記	3	2						
	異文化研究Ⅰ								
	日常生活の英語表現	3前	2						
	異文化研究Ⅲ								
	西洋思想研究	4後	2						
					3	2 1			学生の学習効果を高める理由によ り、専任教員を追加(23) コース必修科目
	英語科教育演習Ⅰ	3前	2		1	2			学生の学習効果を高める理由に より、担当者を変更(22) 職位変更(22)
							3	2 1	学生の学習効果を高める理由によ り、専任教員を追加(23) コース必修科目
	英語科教育演習Ⅱ	3前	2		1	2			学生の学習効果を高める理由に より、配当学期及び担当者を変更 (22) 職位変更(22)
							3	2	学生の学習効果を高める理由によ り、専任教員を追加(23) コース必修科目
	英語科教育演習Ⅲ	4前	2		1	2			学生の学習効果を高める理由に より、担当者を変更(22) 職位変更(22)
							3	2 1	学生の学習効果を高める理由によ り、専任教員を追加(23) 学生の学習効果を高める理由によ り、配当学期を変更(23) 学生の学習効果を高める理由に より、担当者を変更(22) 職位変更(22) コース必修科目
	英語科教育演習Ⅳ	4前	2		1	2			
	英語科教育法Ⅰ	1前/後		2			1		
	英語科教育法Ⅱ	2前/後		2			1		
	英語科教育法Ⅲ	2後 3前/後		2			1		学生の学習効果を高める理由に より、配当学期を変更(22)
	英語科教育法Ⅳ	3前		2			1		学生の学習効果を高める理由に より、配当学期を変更(22)
	教育実習指導(英語)	3前		1			1		
教育実習Ⅰ(英語)	3前		4			1			
教育実習Ⅱ(英語)	3前		2			1			
学校保健Ⅰ(学校安全を含む)	1後		2		1	1		コース必修科目 職位変更(21)	
学校保健Ⅱ(歯科保健を含む)	2前		2		1	1		職位変更(21)	
小児保健	3前		2		1	1		職位変更(22)	
精神保健	2前		2						
養護概説	1前		2		1	1		コース必修科目 職位変更(21)	
健康相談活動	3後		2		1	1		職位変更(21)	
保健統計学	3後		2						

専 門 教 育 科 目	栄養学	1後 4前/後	2	4	1			教育効果の充実を図るため担当者の変更 (23) 学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更 (23) 学生の学習効果を高める理由により担当者を兼任教員へ変更 (22) コース必修科目
	食品学	3前	2					コース必修科目
	解剖生理学 I	1後	2	1				
	解剖生理学 II	2前	2	1				
	解剖生理学演習	3前	2	1	4			担当者の職位変更 (21)
	運動生理学	4後	2			1		学生指導の充実を図るため、専任教員を増員 (21)
	薬理学	4前	2					
	微生物学 (免疫学を含む)	3前	2					学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更 (22)
	生化学	3後 4後	2		4			教員の所属変更の為、専任教員より兼任教員に変更した (21)
	救急処置	1後 4前/後	2		1			学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更 (23) コース必修科目
	看護学 I (医学概論)	1前	2					
	看護学 II (外科学)	1後	2		1			
	看護学 III (内科学)	1後	2					コース必修科目
	看護学 IV (小児看護学・眼科学)	1後 2前	2		4			学生の学習効果を高める理由により、兼任教員へ変更 (22)
	学校看護学演習	1後	2		1	4		職位変更 (21)
	臨床看護学演習	2後	2		1	4		職位変更 (22)
	衛生学	2後 2前/後	2					学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更 (23) コース必修科目
	公衆衛生学 I (予防医学を含む)	2後 2前/後	2					学生の学習効果を高める理由により、配当学期を変更 (23) コース必修科目
	公衆衛生学 II	2後	2		1	4		職位変更 (22)
	公衆衛生学演習	3前	2		1	4		職位変更 (22)
	健康管理学	3後	2		1	4		職位変更 (21)
	保健行動学	4後	2		1	4		職位変更 (21)
	環境保健学	4前	2					
	労働基準法	4前	2					
	労働安全衛生法	4後	2		1			
					3 4			クラス担任数減に伴い、専任教員数を調整 (23)
	保健科教育演習 I	3前	2		3 2	4 2		職位変更 (22) 職位変更 (21) コース必修科目
				3 4			クラス担任数減に伴い、専任教員数を調整 (23)	
保健科教育演習 II	3後	2		3 2	4 2		職位変更 (22) 職位変更 (21) コース必修科目	
				3 4			職位変更 (22) 職位変更 (21)	
保健科教育演習 III	4前	2		2 4	2		コース必修科目	
				3 4			職位変更 (22) 職位変更 (21)	
保健科教育演習 IV	4後	2		2	2		コース必修科目	

専 門 教 育 科 目	保健科教育法Ⅰ	1後		2		1	↓				職位変更 (21)
	保健科教育法Ⅱ	2前		2		1	↓				職位変更 (21)
	保健科教育法Ⅲ	2後		2		1	↓				職位変更 (21)
	保健科教育法Ⅳ	3前		2		1	↓				職位変更 (21)
	教育実習指導 (保健)	3前		1		1	↓				職位変更 (21)
	教育実習Ⅰ (保健)	3前		4		1	↓				職位変更 (21)
	教育実習Ⅱ (保健)	3前		2		1	↓				職位変更 (21)
	養護実習指導	3前		1		1	↓				職位変更 (21)
	養護実習	3前		4		1	↓				職位変更 (21)

- (注) ・ 届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成22年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても、「(1)授業科目表」にはその状況を反映させてください。(ただし、「(3)未開講科目」欄には記載する必要はありません)。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備 考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	教員養成課程としての学修を充実させるために、音楽実践力向上を目指す科目を追加(23) 教員養成課程としての学修を充実させるとともに、過度な単位修得を抑えたこと、及び教育職員免許法改正に伴う教職課程認定により、科目の廃止及び新設のため、最終的に1科目増加となった。
14	242		256	14	247		261	
				[-]	[+5]	[-]	[+5]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置認可時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。(ただし、未開講科目があった場合は、(1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	教育の方法・技術	2	2	専門	選択	教職課程の認定に伴い、文部科学省教職員課免許係より指導を受けた結果、「教育の方法・技術Ⅰ」、「教育の方法・技術Ⅱ」を統合し「教育の方法・技術」とした。(21)
2	外書講読	2	3	専門	必修	多様な学生(併修免許希望者)の要望と、教員養成課程として本来の専門教育の充実を図った結果、学生の授業外での学修時間を確保するために科目を廃止した。(21)
3	教育学・教科研究法Ⅰ	2	1	専門	選択	全学共通の初年次教育科目「大学基礎演習」を新たに開設したことにより、「教育学・教科教育法Ⅰ」と「教育学・教科教育法Ⅱ」を統合し「教育学・教科研究法」とした。(21)
4	介護等体験研究	2	2・3・4	一般	選択	教員免許取得に必要な介護等体験を単位化しないことを理由に科目を廃止した。(22)
5	授業研究(教職実践演習)	2	4	専門	選択	文部科学省より教員免許の取得科目「教職実践演習」の変更に伴い科目を廃止した。(22)
6	総合演習	2	2	専門	選択	教育職員免許法改正に伴う教職課程認定により、「総合演習」を廃止した。(22)

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<ul style="list-style-type: none"> ・ 未開講科目の「日本語Ⅰ」「日本語Ⅱ」に関しては、日本語を母国としない学生のみ履修可能となっており、履修希望者がいなかったため今年度は未開講とした。(21) ・ 廃止科目に関しては、 <ul style="list-style-type: none"> ①「教育の方法・技術Ⅰ」については、教職課程の認定に伴い、文部科学省教職員課免許係より指導を受けた結果、「教育の方法・技術Ⅰ」、「教育の方法・技術Ⅱ」を統合し「教育の方法・技術」とした。 ②「外書講読」については、多様な学生(併修免許希望者)の要望と、教員養成課程として本来の専門教育の充実を図った結果、学生の授業外での学修時間を確保するために科目を廃止した。 ③「教育学・教科研究法Ⅰ」については、全学共通の初年次教育科目「大学基礎演習」を新たに開設したことにより、「教育学・教科教育法Ⅰ」と「教育学・教科教育法Ⅱ」を統合し「教育学・教科研究法」とした。(21) ・ 平成21年度入学生に対するオリエンテーションや掲示、履修要覧等で周知徹底を図った。(21) ・ 廃止とした「介護等体験研究」(2・3・4年次前期選択)に関しては、教員免許取得に必要な介護等体験を単位化しないこととなったため、廃止した。「授業研究(教職実践演習)」は文部科学省より教員免許の課程別に取得科目を設置したため廃止するとともに、教育職員免許法改正に伴い「総合演習」を廃止した。(22) ・ 学生への周知方法については、オリエンテーションやガイダンスで履修要覧を使用し、履修方法・内容について学生に周知した。(22)

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	(6)	=	0.02
届出時の計画の授業科目数の計	(256)		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調査時 (22年2月)	<ul style="list-style-type: none"> ・四天王寺大学人文社会学部言語文化学科日本語日本文化専攻、社会学科の入学定員超過の是正に努めること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人文社会学部言語文化学科日本語日本文化専攻については、平成21年度入学生では定員超過率が1.88倍となり、4年間平均が1.46倍となっていました。平成22年度入学生では1.52倍と前年度比で改善に努めましたが、4年間平均では1.56倍にとどまっています。一方、同じ言語文化学科の中国語アジア文化専攻については、平成22年度入学生では定員超過率が0.32倍となり、3年間（平成20年度～平成22年度）の平均は0.31倍となりました。したがって、言語文化学科全体の4年間平均の入学定員超過率は1.01倍です。 なお、学生指導について支障がないよう日本語日本文化専攻専任教員を現在11名に増員しました。 さらに、平成23年4月施行するべく言語文化学科間での専攻間の定員変更（日本語日本文化専攻50名→70名、中国語アジア文化専攻50名→30名）に係る学則を変更しました。但し、これらの改善だけではよしとせず、適正な入学者数にするよう今後なお一層努めます。(22) ・人文社会学部社会学科については、平成21年度入学生では定員超過率が1.33倍となり、4年間平均についても1.31倍となっていました。平成22年度入学生では合格者の絞り込みを行い是正に努めた結果、定員超過率は1.10倍となり、4年間平均についても1.29倍となりました。 今後、なお一層入学予定者の予測を誤ることなく、適正な入学者数にするよう努めます。(22) 	

		<p>・人文社会学部言語文化学科日本語日本文化専攻については、平成23年4月1日付にて、言語文化学科間での専攻間の入学定員変更（日本語日本文化専攻50名→70名、中国語アジア文化専攻50名→30名）に係る学則を変更いたしました。これにより、平成23年度入学生の定員超過率は0.97倍となり、大幅な改善が達成できました。しかし、4年間の平均入学定員超過率は1.49倍となりました。</p> <p>今後、なお引き続き適正な入学者数にするよう一層努めます。(23)</p> <p>・人文社会学部社会学科については、平成23年度入学生では定員超過率が1.26倍となり、4年間平均についても1.26倍となりました。</p> <p>今後、なお一層入学予定者の予測を誤ることなく、合格者を絞り込み適正な入学者数にするよう努めます。(23)</p>	
設置計画履行状況調査時 (23年2月)	留意事項なし		

- (注) ・「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。